

2023年度

図書館等複合施設整備事業

第13回 小千谷リビングラボ「at!おぢや」

2023年5月14日（日）

席につかれた方から、
名札に、この場で“**呼ばれたい名前**”
の記入をお願いします。

呼ばれたい名前

小千谷リビングラボ「at! おぢや」第13回

共有

1. 挨拶 13:30-13:35 (5分)

2. 事業についての説明：小千谷市 13:35-13:50 (15分)

対話

3. リビングラボについて・オリエンテーション：arg 13:50-14:10 (20分)

4. グループ対話
「わたしたちの施設」の愛称を考えよう！ 14:10-16:25 (135分)

①お互いの「意志」を探るヒアリング・愛称検討 [各グループ] 14:10-15:20 (70分)

(休憩：5分)

②対話内容・愛称案の共有 [全体] 15:25-15:40 (15分)

③グループ間対話（質問）・ブラッシュアップ [全体・各グループ] 15:40-16:05 (25分)

④投票・施設愛称at! おぢや案の決定 16:05-16:25 (20分)

創造

5. 愛称応募にあたって（注意事項）・まとめ 16:25-16:30 (5分)

1. 事業についての説明

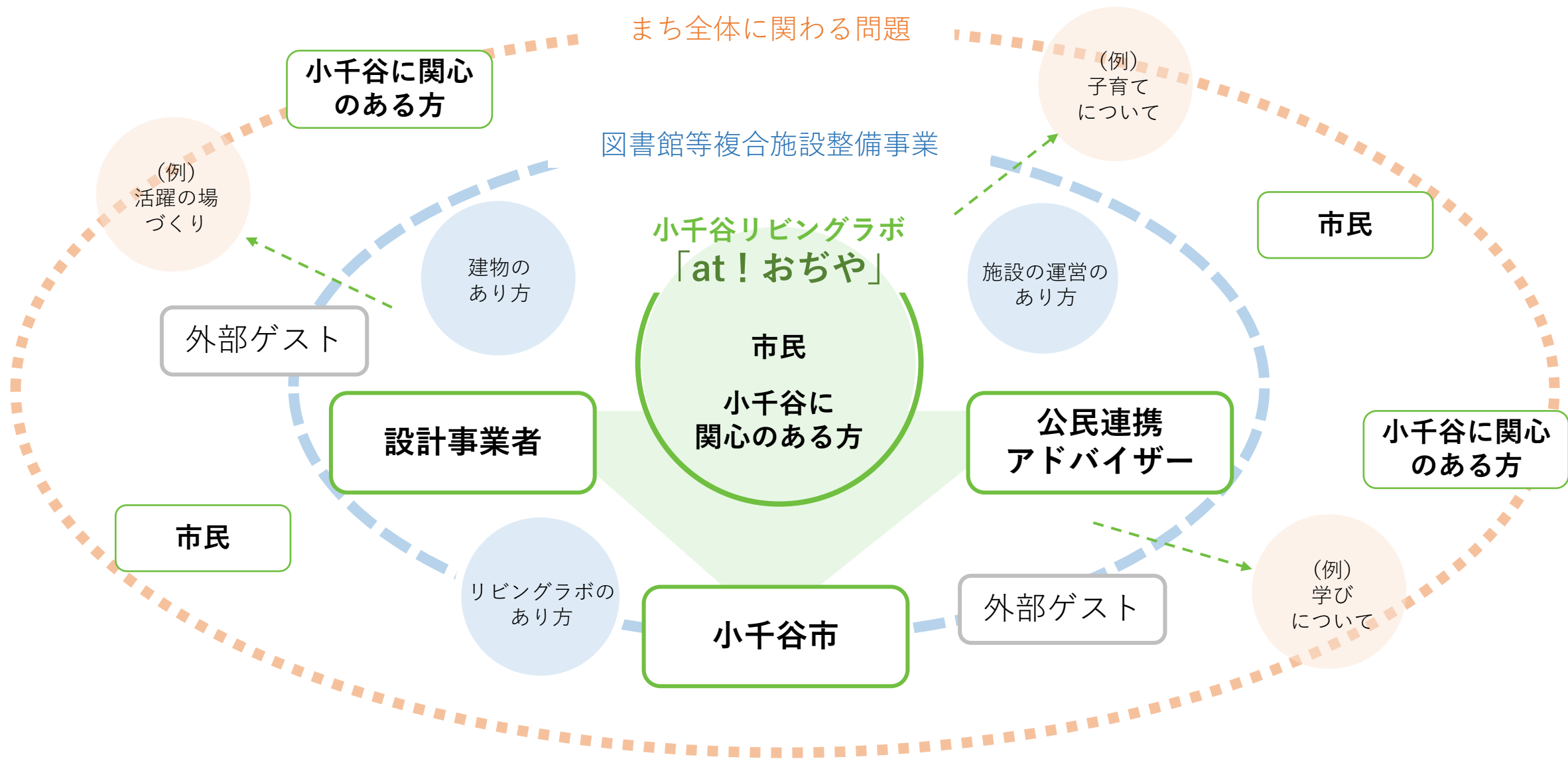
2. リビングラボについて オリエンテーション

● 共創 ●

小千谷市や事業にかかわるさまざまな立場のひとが
互いに情報を交流し、思い（想い）を共有しながら
市民とともにかたちづくる

「わたしたちの」新しい施設づくり、まちづくりを目指します。

小千谷リビングラボ「at!おぢや」のイメージ



2020年度小千谷リビングラボ「at!おぢや」の目標

市民参加プラットフォームを育てるための
土台づくりをしよう！

小千谷リビングラボ「at!おぢや」のこれまで（2020年度）

2020年12月

市民参加プラットフォームを育てるためのシンポジウム
まちと公共施設の未来を創造する

図書館

地域づくりと
市民協働

子どもの未来



2021年3月

まちと公共施設の未来をともに創造する
第1回小千谷リビングラボ（仮称）

リビングラボのあり方や愛称を考える



土台作り

つくる

つかう・参加する

見つけ・動かす

2020年度

2021年度

2022年度以降

開館後

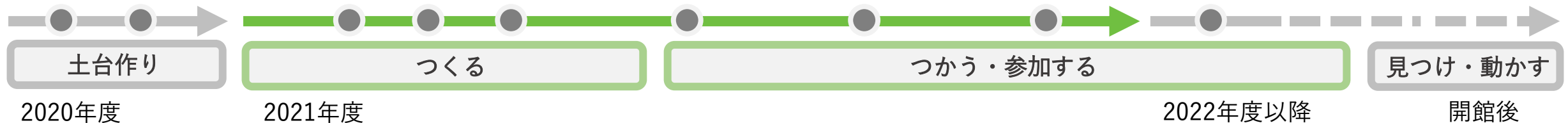
2021年度小千谷リビングラボ「at!おぢや」の目標

施設のあり方をともにつくり、
施設の使い方をともに考え参加しよう

愛称：「at! おぢや」に決定！

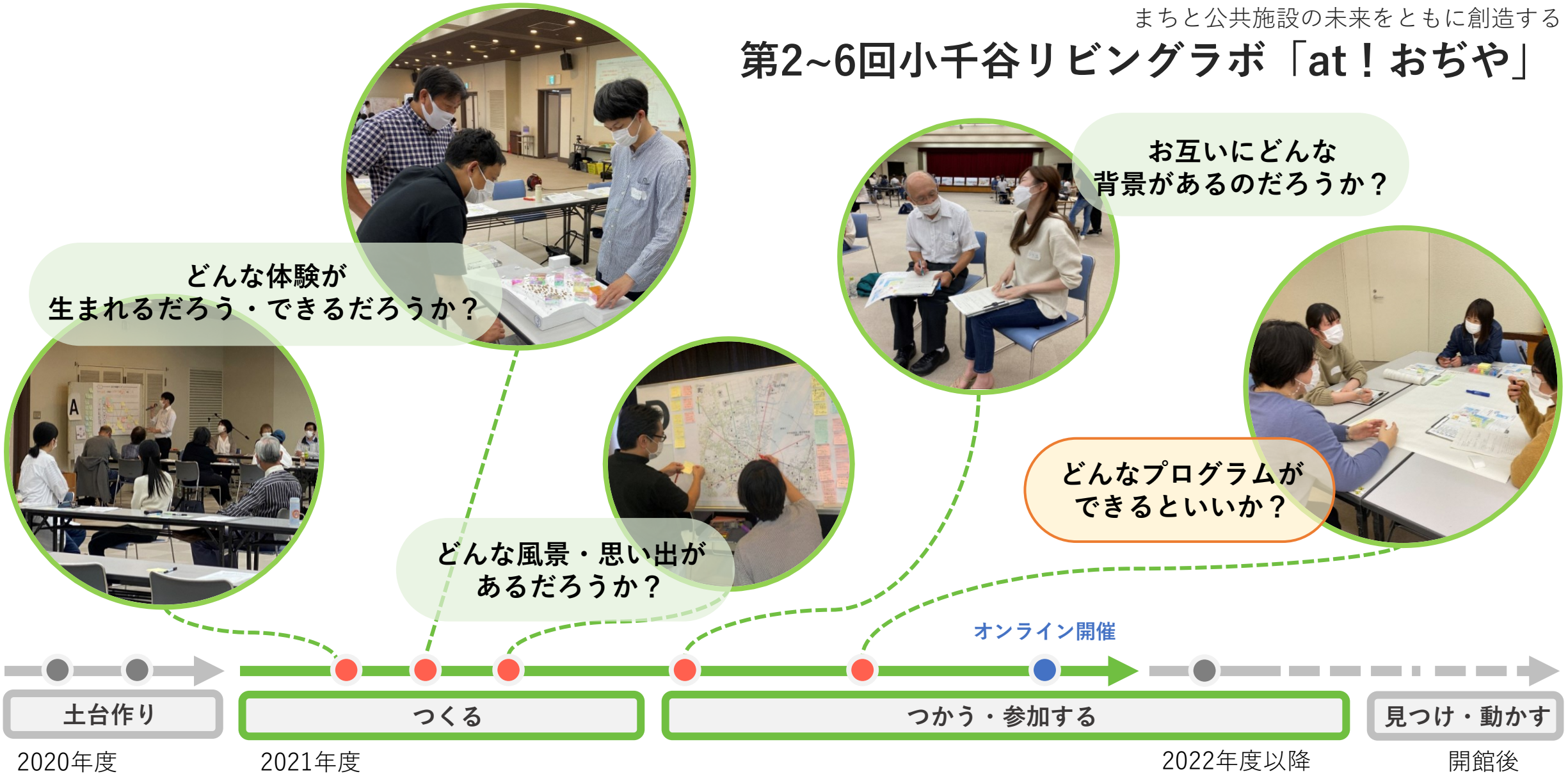


「at」（アット）には、一点に集中する、集まるという意味がある。みんなが一つの場所に集まって話し合い最終的には老若男女が集まる施設になって欲しい。「あっと」驚くようなアイデアが取り入れられた施設になるといいという願いを込めて。



まちと公共施設の未来をともに創造する

第2~6回小千谷リビングラボ「at!おぢや」



2021年7月

2021年11月

2022年3月

小千谷市立南中学校
「ふるさと夢づくり教育」連続授業

わたしたちの居場所と参加



わたしたちの『～したい』を
かたちに



わたしたちの未来を描こう！



土台作り

つくる

つかう・参加する

見つけ・動かす

2020年度

2021年度

2022年度以降

開館後

2021年10月

2021年12月

新潟工科大学連携プログラム
「公共施設づくり・まちづくりをイノベーションする」

「公民連携から公共デザインへ」

まちを動かす
<共創>について

プロジェクトA

おぢや本作り
プロジェクト

プロジェクトB

BBQ,
ビアガーデン



プロジェクトC

「小千谷を彩る」
街並みから小千谷の特
産品を知る

プロジェクトD

まちに
アンカーを
広げる

土台作り

つくる

つかう・参加する

見つけ・動かす

2020年度

2021年度

2022年度以降

開館後

2022年度小千谷リビングラボ「at! おぢや」の目標

オープン後の施設を想像しながら
活動や体験を見つけ、企画しよう

まちと公共施設の未来をともに創造する

第8~12回小千谷リビングラボ「at!おぢや」

ゲストトーク
「集まり動かす、
地域にひらく」

集まり動かす、地域にひらく

アンカーでのプログラムの
企画書をつくろう

「共創」の可能性を
改めて考えてみよう

持ち寄った古い写真で思い出を
語り合い、展示しよう！

オンライン開催

オンライン開催

土台作り

つくる

つかう・参加する

見つけ・動かす

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

開館後

展アンカー

「みんなで持ち寄り、蓄積・編集・発信し、地域を知ることによって地域を新たに発見する拠点」

発+作アンカー

「つくる」を通して過去と未来をつなげる拠点

趣アンカー

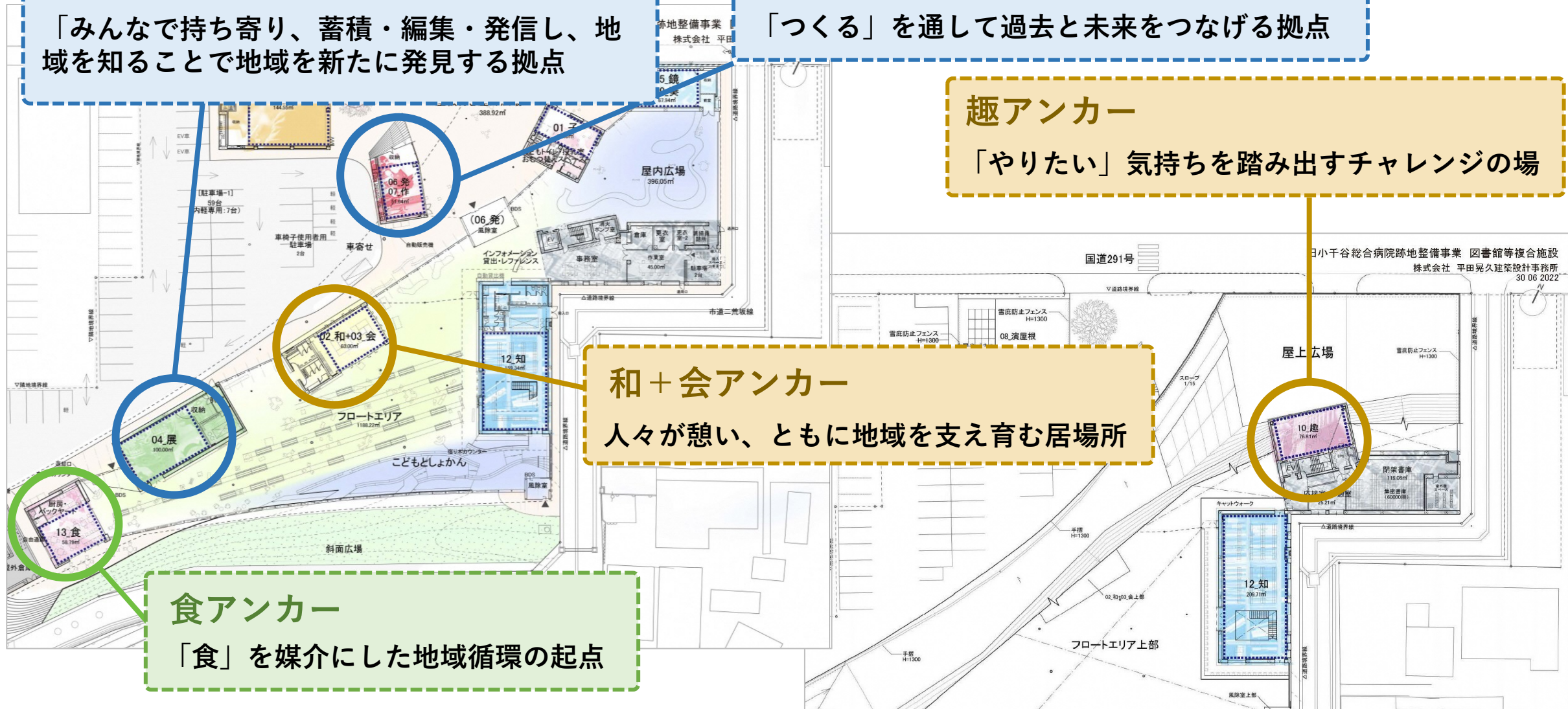
「やりたい」気持ちを踏み出すチャレンジの場

和+会アンカー

人々が憩い、ともに地域を支え育む居場所

食アンカー

「食」を媒介にした地域循環の起点



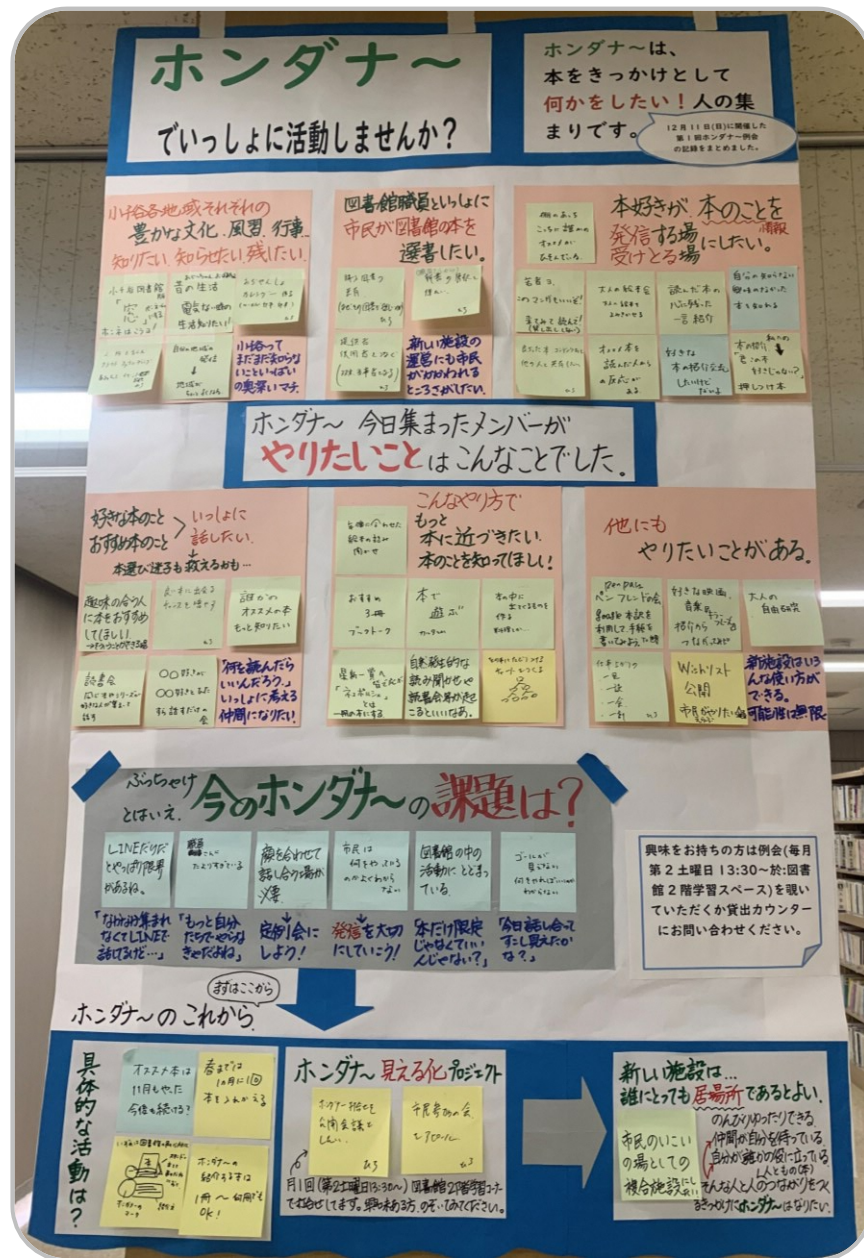
未就学児向けの
親子ワークショップを
開催しました



集まった絵が、建設現場の
仮囲いに展示されています



第8回at! おぢや
(2022年5月開催)
にて呼びかけ、
活動を開始しました!



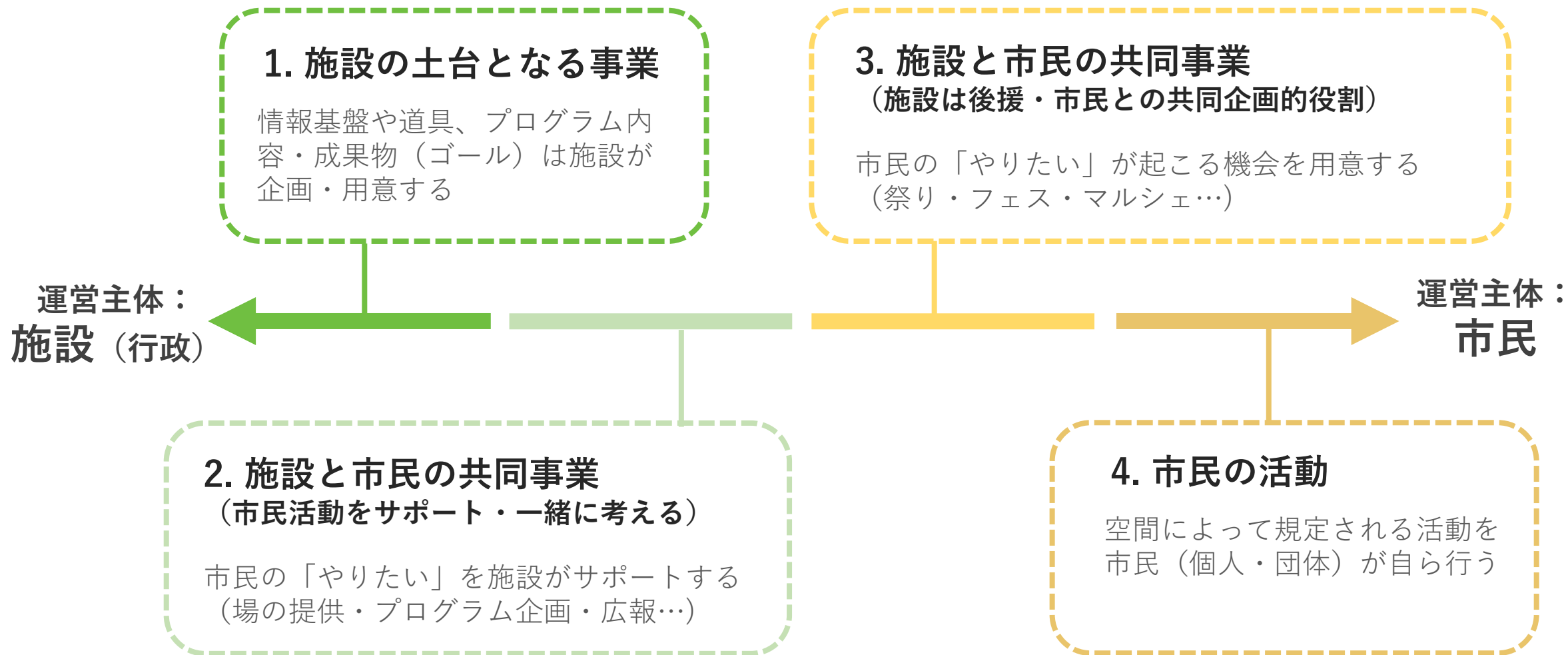
棚づくり・本を通して、
市民や職員の枠を超え、
交流をつくることを目標に
取り組みを継続しています。

LINEグループでの連絡や対
面での議論を重ねながら、居
心地のよい活動の場の
あり方や展開の方法について、
試行錯誤を重ねています。

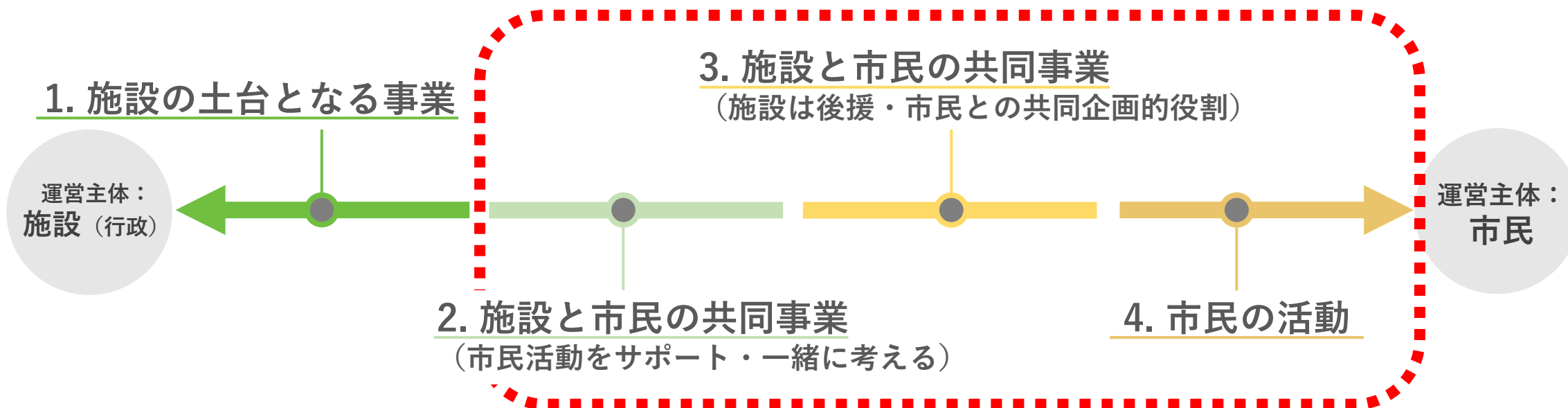
2023年度小千谷リビングラボ「at!おぢや」の目標

コトを起こす場を
自らファシリテート(計画・進行)する
「市民コミュニケーター」になろう

プログラム運営主体のグラデーション



みなさん自身がやりたいことを見つけ、
実際に動き始めてみよう！



今までのat！おぢやを含む議論を踏まえ、
市の想いとしての施設の運営の方向性を占めす「宣言」を検討しています。

「わたしたちの〇〇（施設名）宣言」（仮）

1. わたしたちは、〇〇がみんなの広場として自分の場所であり続けるために、3つの自由（考え方の自由、過ごし方の自由、使い方の自由）を守ります。
2. 3つの自由を守るために必要なルールは、わたしたち自身で対話を通してつくっていきます。
3. わたしたちは、個人や、組織や、地域の壁を超えてつながり、お互いに支え合うやわらかな関係をつくっていきます。
4. わたしたちは、多様な〈知〉を収集・編集し、公共のものとして共有することで、地域社会を豊かにするための運営を目指します。
5. わたしたちは、〇〇での体験や活動を通じて、まちづくりへの参画のちからを互いに育てていきます。

※文言については精査中です。本日の対話も踏まえながら、この事業に関わるどの人にとってもわかりやすい表現へブラッシュアップしていきます。

施設の愛称案を みんなで考えます！

「わたしたちの〇〇（施設名）宣言」（仮）

1. わたしたちは、〇〇がみんなの広場として自分の場所であり続けるために、3つの自由（考え方の自由、過ごし方の自由、使い方の自由）を守ります。
2. 3つの自由を守るために必要なルールは、わたしたち自身で対話を通してつくっていきます。
3. わたしたちは、個人や、組織や、地域の壁を超えてつながり、お互いに支え合うやわらかな関係をつくっていきます。
4. わたしたちは、多様な〈知〉を収集・編集し、公共のものとして共有することで、地域社会を豊かにするための運営を目指します。
5. わたしたちは、〇〇での体験や活動を通じて、まちづくりへの参画のちからを互いに育てていきます。

※文言については精査中です。本日の対話も踏まえながら、この事業に関わるどの人にとってもわかりやすい表現へブラッシュアップしていきます。

愛称募集の概要

応募資格

- 年齢・居住地などを問わず、どなたでも応募できます。
- 応募点数は一人3点までとします。ただし、応募用紙1枚につき1点とします。

募集期間

- 令和5年4月20日（木）～5月31日（水）

愛称の基準及び条件

- 施設の目的や特性がイメージできるもの
- わかりやすく親しみやすいもの
- 複合施設全体で一つの愛称であること
- 自作で未発表のもの

1

お互いの「意志」を探るヒアリング・愛称検討
[各グループ]

2

対話内容・愛称案の共有
[全体]

3

グループ間対話（質問）・ブラッシュアップ
[全体・各グループ]

4

投票・施設愛称at！おぢや案の決定

1

お互いの「意志」を探るヒアリング・愛称検討
(70分)

①

グループ内で施設やこの事業への
参画に対しての意志や想い
についてお互いに探る



①

愛称についてアイデアを出し合い
施設にぴったりの愛称を
考える



グループ

「わたしたちの施設」の愛称を考えよう！

1. 図書館等複合施設は、自分たちにとって（自分にとって）どんな存在か。

1.1. 名づけた愛称から、施設に対してどんなイメージを持ってもらいたいかな。

2.0. あなたの好きな（気になる）愛称（施設、場所、スポット、プロジェクト、キャラクター等）。
※なぜその愛称が好き（気になる）なのか考えてみましょう。

2. 愛称アイデア

名前

名前

名前

名前

グループ愛称案（1案）

愛称の意味（名づけの意図）

お互いの「意志」を探ろう

グループ内で、施設やこの事業への参画に対しての互いの意志や想いを探りながら、愛称アイデアを検討するための素材を出す。

意志からアイデアをつなぐ設問

1.の設問で聞きあった互いの意志や想いを具体的な愛称アイデアにつなげるために、可能な範囲で考える。

愛称のアイデア出し

※誰の発案のアイデアかを明記する。

グループ愛称案

愛称案をグループで一つに絞り、第三者にもその意味と意図が伝わるよう、説明を記載する。

< 愛称の例① >

2つの異なる単語を組み合わせて新しい単語を創る

※ローカルな言葉と組み合わせると、
より他で使われていないオリジナルなものになりやすいです。

1 「おぢゃ～る」

小千谷市 市民の家・小千谷信濃川水力発電館

「小千谷」 + 「JR」 をかけあわせた造語

2 「まちやま」

三条市の「図書館」、「鍛冶ミュージアム」、
「科学教育センター」、「ステージえんがわ」
「ひろば」が一体となった施設

まちの中にある大きな**やま**のような施設のかたちと、その中にいろいろな楽しさや知識、学びが詰まっている様子がイメージされている。

< 愛称の例② >

みんなが知っている強い文脈をベースにアレンジする

※ローカルな言葉と組み合わせると、
より他で使われていないオリジナルなものになりやすいです。

3 「アオーレ」

三条市の「図書館」、「鍛冶ミュージアム」、
「科学教育センター」、「ステージえんがわ」
「ひろば」が一体となった施設

長岡弁で「会いましょう」を意味する「会おう
れ」をもじったもの

4 「みるる」

栃木県那須塩原市にある、公立図書館

「多くの人に見に来てほしい」という願いを込
めたもの

< 愛称の例③ >

想いを組み合わせて愛称に載せる

5 「もみわ広場」

瀬戸内市民図書館

「もちより・みつけ・わけあう広場」の頭文字
をとったもの

6 「tette」

須賀川市市民交流センター

「Hand to hand-手と手」から、誰でも言いやす
く覚えられるように命名

愛称案のチェックポイント

1

自分で使うか？呼びたいか？

この施設の愛称がその案で実際に決まった場合に、自分はその愛称を呼びたいか、使っていけるか、改めて自分たちで問いかけてみる。

※最初はピンとこないけど、使っていくうちにどんどん愛着を持つようなケースもあります。

2

「読みやすさ」と「呼びやすさ」

長い言葉は覚えづらくなってしまいうので、短く・強い言葉を意識し、誰にでもなじみやすいものになっているかを確認する。

愛称選定におけるat！おぢや案の扱い

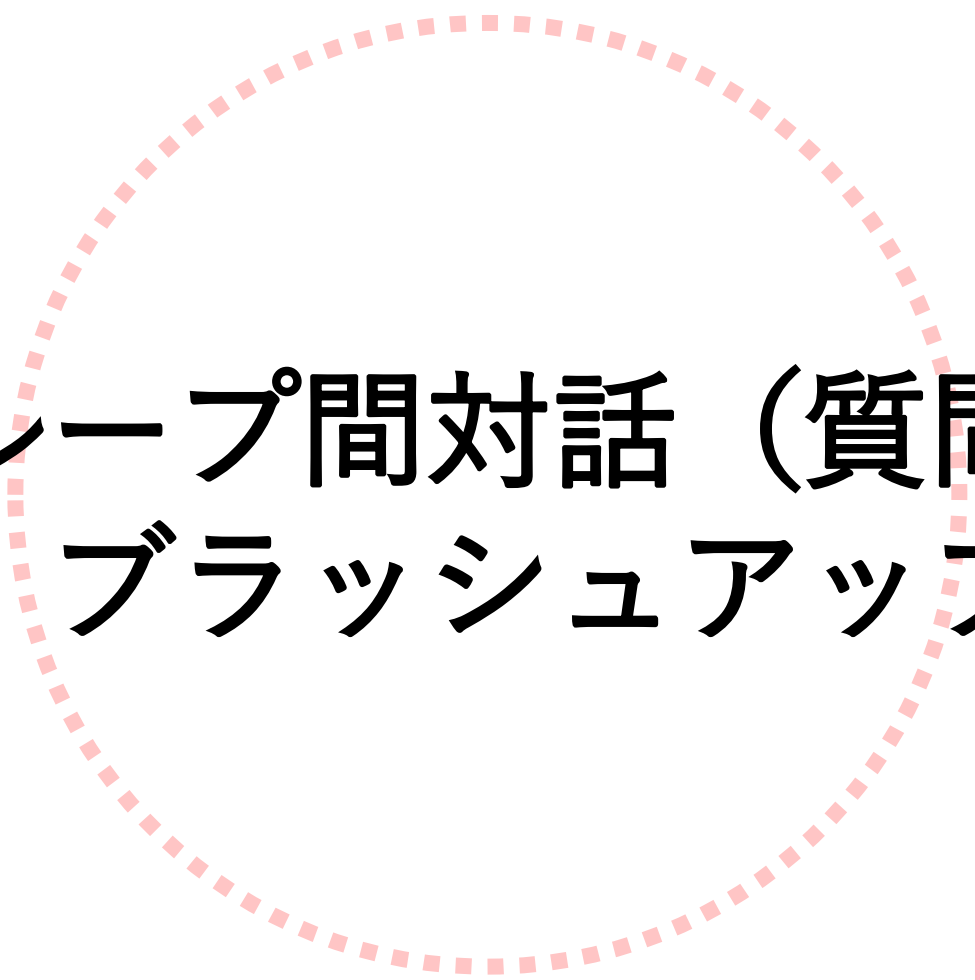
- 第13回小千谷リビングラボ「at！おぢや」（本開催）にて創作・選出した愛称案1点については、「最終候補作品」4点のうちの1点として扱います。（他3点は一般応募から選出）
- 最終候補作品4点のなかから、最終的に市長が最優秀賞（採用作品）1点を決定します。
- 「at！おぢや」案が最優秀賞として決定した場合の賞金は、「at！おぢや」の活動資金として活用していきます。

愛称アイデア出しにあたっての注意事項

- 本開催で決定しなかったアイデアについて、募集期間に個人もしくはグループの愛称案として応募することが可能です。ただし、他人のアイデアを自分のアイデアとして応募することはやめてください。
- 自身のアイデアであることが分かるように、愛称アイデアの付箋には名前等を記載し、誰の発案のものであるかわかるようにしてください。
- グループ案を応募したいグループは、本日閉会後にスタッフに申し出のうえ、その場で用紙に必要事項（愛称案・代表者連絡先等）を記入のうえ、提出してください。

3.グループ対話

「「わたしたちの施設」の愛称を考えよう！」



グループ間対話（質問）
・ブラッシュアップ

投票・施設愛称
at！おぢや案の決定

4. 愛称応募にあたって（注意事項）

・まとめ

愛称アイデア出しにあたっての注意事項

- 本開催で決定しなかったアイデアについて、募集期間に個人もしくはグループの愛称案として応募することが可能です。ただし、他人のアイデアを自分のアイデアとして応募することはやめてください。
- グループ案を応募したいグループは、本日閉会後にスタッフに申し出のうえ、その場で用紙に必要事項（愛称案・代表者連絡先等）を記入のうえ、提出してください